

● 近年の激甚な水害や、気候変動による水害の激甚化・頻発化に備え、あらゆる関係者が協働して流域全体で水害を軽減させる治水対策、「流域治水」を計画的に推進することを目的として「流域治水プロジェクト」にもとづく取組状況についてのフォローアップ等を行うため幾春別川外地域部会を開催した。(今年度は他の地域部会や石狩川下流域外減災対策協議会と合同開催)

日時：令和6年2月9日(金) 13:30~15:00

開催方法：WEB会議

構成員：北海道開発局(札幌開発建設部)
 気象台(札幌管区気象台)
 北海道森林管理局(空知森林管理署)
 国立研究開発法人森林研究・整備機構
 森林整備センター(東北北海道整備局)
 北海道(石狩振興局、空知総合振興局)
 岩見沢市、美唄市(欠席)、三笠市、新篠津村、
 月形町(欠席)

地域部会の様子 (WEB開催)



自治体等主な会場



左：札幌開発建設部



右：岩見沢河川事務所

※写真を掲載しているのは参加者(会場)のうちの一部です

報告のあった自治体の取組事例

- ・ 出前講座を実施
- ・ 防災訓練の実施
- ・ 防災関係の資格取得希望者への費用補助
- ・ 地域連携のため町内会との定期会議
- ・ 防災講習会の実施
- ・ 避難所運営訓練、1日防災学習の実施
- ・ 防災展示イベントの開催
- ・ 河道掘削、樹木伐採などの河道の維持管理の実施
- ・ コミュニティタイムラインの作成
- ・ 災害時に近隣公共施設へ住民受入の避難訓練を実施

など



岩見沢市長

代理出席：総務部長

- 希望のあった町内会や自治会、企業団体で出前講座を実施。
- 小中学校の出前講座では資機材の体験のほか、消防職員による心肺の蘇生訓練や、応急手当の訓練、応急担架の作成や負傷者搬送訓練、それから実際に煙がこんな状態になるんだというような体験をしたり、水の消火器による訓練を実施。
- 市民参加による防災訓練を毎年場所を移動させて実施しており、令和5年は中央小学校で、ここを避難所としている市民と防災訓練を実施。
- 各ブースでは、消防でしたらはしご車の同乗体験ですとか、陸上自衛隊駐屯地ですと人命救助の機材の展示やドローンの展示、炊き出しなどを行った。
- 市内在住で防災士等の防災関係有資格者を対象に、防災関係の資格を取ることに対してその費用補助、防災リーダー育成、地域との連携を図るため町内会の方々と一緒に会議を定期的実施。
- 地域の実情に合った活動とするため市内を5つのブロックに分け、地域別に内容を調整して会議を実施し、防災に関する知識の向上のため研修会を続けている。



三笠市長

代理出席：

三笠市消防本部
生活安全センター長

- 市民等を対象とし自主防災組織、町内会を対象とした防災講習会を毎年実施。
- 講話の他、ハザードマップの説明や段ボールベッドの組立訓練、避難所に設置している備蓄品の説明等を行っている。特に備蓄品の重要性ということで、食料、携帯用のトイレを家庭内で備蓄するように周知を行っている。
- 防災教育として、中学生を対象とした避難所運営訓練の他、小学校を対象とした1日防災学習を行っており、防災意識の普及啓発等に取り組んでいる。
- 防災展示イベントとして、市内の商業施設において啓発活動を実施している。水防団員の確保が課題となっており、消防団員の募集PR活動も実施した。



新篠津村長

代理出席：総務課 参事

- 小学校は5年生、中学校は全校生徒を対象に避難所運営ゲーム、段ボールベッド組立体験など防災教育を行っている。
- 地域住民を対象とし、各地区を1カ所選んで防災避難訓練、段ボールベッド、トイレの組立体験のほか、江別警察に協力をいただき防災の講話を行っている。
- 災害を体験したことがある職員が少ない中での訓練等になるので、職員の意識向上も含めて、今後も訓練等を実施していく。



幾春別川外部会長

岩見沢河川事務所長

- 幾春別川流域の関係機関の皆様におかれましては、それぞれ減災対策を着実に進めていただきましてありがとうございます。
- 当事務所といたしましては、まずは5カ年計画に位置付けられている治水対策の中のハード対策を中心に進めてまいります。
- 今後も関係機関の皆様と一緒に、ハード対策・ソフト対策の両輪で、減災に向けた取り組みをしっかりと進めてまいりますので、引き続きよろしく願いいたします。以上です。